

## 糖尿病内科

瀧 秀樹

当科は糖尿病の治療ならびに合併症の早期発見に努め、QOL改善に取り組んでいる。看護部・栄養管理室・薬剤科・臨床検査科・リハビリテーション科・口腔外科と糖尿病チームを組織し、共同で糖尿病教室・糖尿病デーの催しを行い患者への情報提供に取り組んでいる。また看護部とフットケア外来、看護部・栄養管理室と透析予防外来、看護部・栄養管理室と1型糖尿病外来を開設し専門医療を提供している。

国立病院機構の共同研究として、多面的管理達成者の糖尿病腎症予後改善効果を予測できる非侵襲性指標の確立に参加している。

専修医の教育の一環として学会発表を行っている。

### 【2015年度 研究発表業績】

A-0

Tabuchi T, Otsuki M, Kasayama S, Kosugi K, hashimoto K, Yamamoto T, Tsugawa M, Mineo I, Yamada Y, Kouhara H, Nakamura T, Taki H, Matsuoka T, Imagawa A, Funahashi T, Shimomura I : Clinical and endocrinological characteristics of adrenal incidentaloma in Osaka region, Japan. Endocrine journal. 2016 ; 63 (1) 29-35

A-2

加藤 研 : 「インスリンポンプとCGM」 雨宮伸・難波光義 [監訳] 村田敬・坂根直樹・松久宗英 [代表翻訳] 102-117、医歯薬出版株式会社、東京、2015年5月

A-6

瀧 秀樹 : 増加する肥満2型糖尿病の治療。南医師会会報 66 (3) P.37-38、2015年11月

B-3

西村元伸、田中剛史、瀧 秀樹、鈴木誠司、齊藤美穂、山田和範、加藤泰久、安東 豊、利根淳仁、星山佳治 : 国立病院機構EBM研究 糖尿病腎症発症進展阻止のための家庭血圧管理指針の確立 (HBP-DN)。第38回日本高血圧学会総会、愛媛、2015年10月11日

B-4

森住 蘭、加藤 研、中山 環、谷川 清、田矢直大、種田灯子、光井絵理、伊藤孝仁、瀧 秀樹 : 1型糖尿病患者におけるカーボカウントの実践とHbA1c・QOLへの影響についての検討。第58回日本糖尿病学会年次学術集会、下関、2015年5月22日

西村元伸、田中剛史、瀧 秀樹、齊藤美穂、郡山暢之、河部康次郎、鴻山訓一、山田和範、利根淳仁、加藤泰久 : 糖尿病腎症 (DN) 第2期進展阻止のための家庭血圧目標値 (国立病院機構EBM研究HBP-DN班)。第58回日本糖尿病学会年次学術集会、下関、2015年5月23日

加藤 研、橋本友美、川嶋 聡、広瀬正和、神内謙至、和栗雅子、川村智行、中嶋千晶、瀧

秀樹、佐藤利彦、小杉圭右：インスリンポンプ療法を中心とした内科小児科合同の取り組み。第21回日本小児思春期糖尿病研究会、東京、2015年7月12日

田矢直大、坂東佐和子、種田灯子、光井絵理、加藤 研、小澤健太郎、爲政大幾、瀧秀樹：悪性黒色腫に対して抗PD-1抗体を使用開始後甲状腺機能の低下を認めた橋本病の1例。第69回国立病院総合医学会、札幌、2015年10月3日

西村元伸、関 直人、米澤一也、石田紀子、田口修一、大谷すみれ、島田典生、杉山隆夫、鈴木誠司、宇治原誠、田中剛史、竹内美紀子、山田和範、瀧 秀樹、安東 豊、鴻山訓一、河田公子、利根淳仁、伊勢田泉、長瀬教夫、齊藤美穂、吉住秀之、河部康次郎、豊永哲至、郡山暢之：H18年度 EBMのための大規模研究 糖尿病腎症発症進展阻止のための家庭血圧管理指針の確立（HBP-DN）第6報。第69回国立病院総合医学会、札幌、2015年10月3日

餅 康樹、中山 環、奥田沙慧、永妻佑季子、大土彩子、森住 蘭、谷川 清、種田灯子、森本竹紗、光井絵理、加藤 研、平尾素宏、瀧 秀樹、伊藤孝仁：肥満を有する糖尿病患者における栄養指導と肥満関連遺伝子の関連。第69回国立病院総合医学会、札幌、2015年10月4日

関 直人、西村英夫、大谷すみれ、西村元伸、宇治原誠、青木雄次、志田幹雄、田中剛史、八幡兼成、瀧 秀樹、河田公子、肥田和之、小田賀明、澄井俊彦、吉住秀之、河部庸次郎、菊池秀年：糖尿病腎症進展阻止のための抗血小板薬（シロスタゾール）の有用性に関する多施設共同プラセボ対照二重盲検用量比較試験（第三報）。第69回国立病院総合医学会、札幌、2015年10月3日

#### B-6

島池沙也香、大井未来、森脇貴美、高田耕自、加藤 研、瀧 秀樹、渡久地政茂、眞能正幸：臨床検査科における糖尿病外来 CGM 検査への参画。第42回 国立病院臨床検査技師協会近畿支部定期総会学会、須磨、2015年6月6日

田矢直大、加藤 研、坂東佐和子、種田灯子、光井絵理、瀧 秀樹：インスリンアナログ製剤投与後抗体の性質変化を認めたインスリン抗体陽性糖尿病の1例。第52回日本糖尿病学会近畿地方会、京都、2015年11月14日

坂東佐和子、加藤 研、田矢直大、種田灯子、光井絵理、瀧 秀樹：感染性心内膜炎が原因と考えられた脳梗塞を合併した1型糖尿病の一例。第52回日本糖尿病学会近畿地方会、京都、2015年11月14日

餅 康樹、中山 環、永妻佑季子、大土彩子、谷川 清、光井絵理、加藤研、平尾素宏、瀧秀樹、伊藤孝仁：肥満を有する糖尿病患者における栄養指導と肥満関連遺伝子の関連。第52回日本糖尿病学会近畿地方会、京都、2015年11月14日

#### B-8

光井絵里：経口剤治療における SGLT2 阻害剤のポジショニングとは？第3回 Diabetes Seminar、

大阪、2015年4月15日

光井絵里：1型糖尿病患者への3C（CSII、CGM、Carbohydrate Counting）の取り組みと1型糖尿病専門外来、SAP（Sensor Augmented Pump）療法の紹介。大阪、2015年5月9日

田矢直大、坂東佐和子、種田灯子、光井絵理、加藤 研、瀧 秀樹：悪性黒色腫に対し抗PD-1抗体開始後甲状腺機能の低下を認めた橋本病の1例。第9回大阪糖尿病臨床カンファレンス、大阪、2015年5月9日

瀧 秀樹：医療連携から考える SGLT2 阻害薬の適正使用 パネルディスカッション。大阪、2015年5月16日

加藤 研：「私がインスリンポンプ療法に変更したきっかけと、大阪での取り組み」インスリンポンプ・SAP療法大阪サミット2015、大阪、2015年6月14日

加藤 研：SAP療法とは。SAP-620Gインスリンポンプ勉強会、大阪、2015年6月24日

田矢直大、加藤 研、種田灯子、坂東佐和子、光井絵理、川嶋 聡、片上直人、瀧 秀樹：今なぜ糖尿病患者にEPAが必要なのか？糖尿病患者のEPA/AA比の実態～2型糖尿病300人、1型糖尿病120人のデータより～。第9回大阪内分泌・代謝クリニカルカンファレンス、大阪、2015年6月13日

加藤 研：SAP療法概要と620G使用方法、注意点。SAP-620Gインスリンポンプ勉強会、大阪、2015年7月23日

瀧 秀樹：増加する肥満糖尿病患者の治療。第2回大阪市中央区南医師会学術講演会、大阪、2015年7月25日

加藤 研：1型糖尿病患者に対するSAP療法の実際。第10回糖尿病の病態と今後の治療を考える会、大阪、2015年10月22日

加藤 研：1型糖尿病に対する3C療法、SAP療法の実際。第1回広小路DMJカンファレンス 3Cセミナー、京都、2015年11月20日

瀧 秀樹：肥満2型糖尿病の体重はコントロールできるか？第108回なにわ Doctor's Network、大阪、2015年11月18日

加藤 研：1型糖尿病患者へのSAP療法の実際。第6回糖尿病と脂質代謝を考える会、大阪、2015年12月3日

加藤 研：1型糖尿病患者へのSAP療法の実際。糖尿病セミナー、大阪、2015年12月17日

加藤 研：1型糖尿病チーム医療のすすめ。阪大1型糖尿病塾、大阪、2016年1月30日

光井絵里: SGLT2 阻害薬使用前後の体組成変化の検討。第 28 回インスリン治療研究会、大阪、2016 年 1 月 23 日

瀧 秀樹: 増加する肥満糖尿病患者の治療。大阪市中央区東医師会学術講演会、大阪、2016 年 1 月 27 日

瀧 秀樹: 増加する肥満糖尿病患者の治療。大阪市浪速区医師会学術講演会、大阪、2016 年 2 月 20 日

瀧 秀樹: 肥満糖尿病患者の治療。大阪糖尿病協会顧問栄養士会学術講演会、大阪、2016 年 3 月 26 日